

改装第53号

2011年11月15日発行
発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 吉田哲夫

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくい 労福協

1. 暮らしの相談事業
に対する充実支援の
お願い
ライフサポートセンタ
ー福井(県補助事業)は本
年8月で開設5年目を迎
えました。
これまでに、多重債務
問題、労働問題、その他く
らしに関わる法律問題な
ど、暮らしの上での困り
事の相談は1851件に
達しました。暮らしのセ
ーフティネットとして県
民に認知をいただいでい
ると思えます。より一層
の支援をお願いします。

2. 広報掲載のお願い
ライフサポートセンタ
ー福井(県補助事業)並
びに、労使相談センタ
ー(県受託事業)を、県民
の暮らしの相談窓口とし
て、県広報誌等に掲載し
て下さることをお願いし
ます。
3. 消費者行政相談体
制の充実強化
悪質商法については、
研修会などを開催しなが
ら注意喚起をしていますが、
消費者行政・相談体

4. 制度融資「勤労者
生活安定資金」の周
知のお願い
勤労者ライフプラン資
金融資制度は、「勤労者
生活安定資金制度」とし
て昭和53年の制度発足以
来、延べ約8万1,900
人・787億88万円(平
成23年3月末)の勤労者
の方にご利用いただいで
おります。
平成23年度よりは、印
鑑証明書を徴求不要とし

5. 福井県勤労者住宅利
子補給制度の安定
的な継続のお願い
福井県勤労者住宅利子
補給制度は、平成16年度
の制度改訂により県内勤
労者平均所得以下の勤労
者への住宅利子負担に対
する補助となりました。
が、平成23年3月末実績
は件数が197件、金額
で7億8,384万円とな
っており、勤労者住宅取
得の支援制度として支持
され、活用されておしま
す。つきましては、是非
来年度も制度の継続を引
続きをお願いします。

6. 多重債務者対策に
係る情報交換並びに
連携のお願い
内閣に設けられた「多
重債務者対策本部」では、
平成19年度(全国一斉多
重債務者相談ウィーク)、
平成20、21年度(多重債
務者相談強化キャンペーン)
に引き続き、平成22年
度も9月1日~12月31
日の期間に「多重債務者

7. 「ぼうさいカフェ」
に対する協力をお願い
全国的に多発する自然
災害の被害から、組合員
とその家族の安全を確保
し、万一災害にあったと
しても「生活再建」がで
きるよう経済的な備え
(保障の準備)をおこな
うことを目的に「住まい
の暮らし防災・保障点検
運動」を展開していると
ころです。
全労済として、社会貢
献の一環として、生活者
の防災・減災意識の向上

福井県消費生活センターの連絡先
福井県消費生活センター
(0776)221102
福井県南消費生活センター
(0770)527830
(9時~17時 土・日曜日も相談可 祝日休み)

各事業の支援や制度継続など
7項目の「要望書」を県に提出
知事との意見交換会を開催
労働関係事業団体
平成24年度の予算編成期にかかる諸制度への要望書(抜粋)
西川知事に対し諸制度の要望書を提出しました(福井県庁会議室にて、写真参照)。続いて、労働関係各事業団体代表者が事業現況と課題等の報告とともに要望書に基づく説明を行い、県との意見交換会を行った。知事は、労働者福祉に対する理解を示すとともに、県として労働環境の改善策として、支援・助成制度や就活などの対策を進めている。今後も労働行政の一環として、福祉事業団体の事業支援等について継続的に行っていくきたいとの考えを示されました。

知事へ要望書提出
平成24年度の福井県の予算編成にあたり、10月27日、労福協馬場会長は西川知事に対し諸制度の要望書を提出しました(福井県庁会議室にて、写真参照)。続いて、労働関係各事業団体代表者が事業現況と課題等の報告とともに要望書に基づく説明を行い、県との意見交換会を行った。知事は、労働者福祉に対する理解を示すとともに、県として労働環境の改善策として、支援・助成制度や就活などの対策を進めている。今後も労働行政の一環として、福祉事業団体の事業支援等について継続的に行っていくきたいとの考えを示されました。

福井県勤労者住宅利子補給制度は、平成16年度の制度改訂により県内勤労者平均所得以下の勤労者への住宅利子負担に対する補助となりました。が、平成23年3月末実績は件数が197件、金額で7億8,384万円となっており、勤労者住宅取得の支援制度として支持され、活用されております。つきましては、是非来年度も制度の継続を引き続きをお願いします。

相談強化キャンペーン
2010」が実施されて
おります。
この間、会員と連携し
ながらセミナー等による
予防・啓発活動の展開と
相談活動、労福協主催の
「くらしなんでも相談会」
との連携並びに弁護士・
司法書士とのネットワー
クの構築、労福協との連
携による「高金利からの
借り換え運動」の取組み
など可能な対応を行って
おります。
貸金業法は平成22年6
月18日に、総量規制など
重要な部分を含むすべて
の規定が施行されました
が、抜本的に多重債務問
題を解決していくため、
県所管の「福井県多重債
務者対策協議会」との情
報交換並びに連携をお願
い致します。

2011年度
福井県退職者団体連合研修会
「悪質商法」に注意を！
県消費者センター講師坪川和子氏が講演
9月22日(木)午前10時より、ユニオンプラザ福井において、最近の消費者トラブル(悪質商法について)をテーマに、県消費者センター相談員でもある坪川和子講師による講演を開催しました。(退職者団体連合の会員90名参加)
講演で、県消費者センターの相談件数は減少しているが、内容は複雑化・高度化し、1件あたりに要する対応回数は年々増加している。増加している相談は、①インターネット通販にかかる相談や最近特に多いワンクリック請求トラブル(アダルトサンプル動画登録完了)、②高齢世代を中心に激増した金融商品トラブル③結婚相手紹介サービス④屋根・壁のリフォーム等の訪問販売などである。その他の悪質商法は、未だに多い「振り込め詐欺」だけでなく、「点検・開運・SF(催眠)・利殖・送り付け」などの商法があり、海外宝くじ当選、狙い撃ち勧誘の相談も少なくない。手口は言葉巧みで知能化(巧妙化)してきているので、被害者は若年者や主婦、高齢者だけでなく誰でも騙される可能性がある。騙されたいと思っていない人ほど、特に注意して下さい、という内容でした。講演のあと北陸労働金庫、全労済福井県本部、ユニオンプラザ福井の3福祉事業団体から、それぞれの現況報告並びに今後のご利用の要請を行い研修会は終了しました。

福井県消費生活センターの連絡先
福井県消費生活センター
(0776)221102
福井県南消費生活センター
(0770)527830
(9時~17時 土・日曜日も相談可 祝日休み)

福井県消費生活センターの連絡先
福井県消費生活センター
(0776)221102
福井県南消費生活センター
(0770)527830
(9時~17時 土・日曜日も相談可 祝日休み)

無担保 教育ローン キャンペーン
《ろうきん》の「教育ローン」がお子様のお手伝いします!
2011年生活応援!
2011年10月1日~2012年4月30日
キャンペーン期間中、特別金利で通常の基準金利より年1.67%引き下げ! さらに、特別保証料を年0.5% (通常0.8%) 適用!
特別金利 1.90%
※元金、保証料年0.5%は別途です。
※上記金利は2011年10月1日現在適用中。
※融資金利優待期間の適用はございません。
※返済期間 最長15年
※返済方法 毎月返済又は毎月返済+ボーナス返済の併用
※生活:下宿・アパートの場合
出典:平成20年度学生生活調査結果/独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)
《ろうきん》ならではの3つのメリット!
ご卒業までは、お利息のみのご返済でもOK!
※元金返済の任意制は、在学中期間です。
インターネットでローン相談予約がカンタンにできる「来店予約サービス」もご利用いただけます。詳しくはもよりの《ろうきん》までお問い合わせください。 北陸ろうきん 検索

かわだ温泉 ラポーゼかわだ
ユニオントラベル特別企画
【期間】
2011年 2012年
11月~3月
(12/29~1/24は除きます)
忘新年会
送迎無料
忘新年会プラン特典
飲み放題 2,500円/人
15名様以上なら 2,000円/人
ビール・日本酒・焼酎・ソフトドリンク(120分)
12月の土曜 夜食おにぎり付!
15名様以上 カラオケ無料!
囲碁・将棋・麻雀 貸出し無料!
お一人様料金(10名様以上)
1泊2食 8,900円~
日帰りプラン 7,000円~
(税金・サービス料・入浴税150円込)
平日・日曜はさらに1,000円引き!
ユニオントラベル福井
TEL 0776-21-2312
FAX 0776-26-3982

全労済「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」説明会を開催

全労済福井県本部では、10月13日(木)および14日(金)の午後6時30分から、それぞれ福井県国際交流会館〔嶺北会場〕およびプラザ萬象〔嶺南会場〕にて「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」説明会を開催しました。

今回の説明会は、経営委員および各地区推進委員会幹事選出団体役員を対象に開催し、27団体38名(嶺北会場:20団体29名、嶺南会場:7団体9名)の方々に参加していただきました。

今年3月に発生した東日本大震災が甚大な被害をもたらしたことによって、組合員の生命や安全確保を最優先する防災・減災の必要性が再認識されています。その中で、「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」は、「防災・減災」と「住宅・家財・地震保障の利用促進」を展開し、組合員・生活者の生活に貢献していく運動としての取り組みの徹底により、全労済の労働者共済運動の更なる深化と「住まいの保障分野」の加入拡大をはかっていくものです。

この説明会を契機に、各協力団体へは具体的な取り組み提案をいたしますので、今後とも全労済に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



会場風景

県民せいきょう

暮らしのお役立ち情報

県民せいきょうでは、買物支援として、「ミニハーツ便」「夕食宅配」「買物代行」などの生活支援サービスを展開しています。ぜひご紹介ください。

ハーツ便

軽トラック導入ごきめ細やかなサービスもめざましく

10月より軽トラック版の「ハーツ便」が2台新登場! 鯖江市(ハーツさばえ周辺地域)や福井市(ハーツ学園周辺地域)を中心に、運行します。小さなトラックで自宅の前までお伺いしますので、お1人でもご利用いただくことができます。まずは、お気軽にお問い合わせください。

対象エリア 福井市・鯖江市 (一部の地域を除きます)



軽トラック版「ハーツ便」では、生鮮品(肉・魚・野菜・果物)のほか、惣菜、菓子など約300品の商品をお届けします。

夕食宅配

10月より小浜市内でもサービス開始

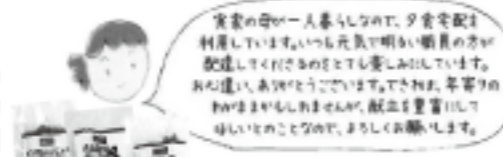
地元産の素材を中心にバランスの良い弁当を日替わりで週5日(月~金)お届けします。

5食(月~金) 2,990円 (一食あたり598円)

★容器はレンジ対応です
★魚の骨を取り除いたり、肉に切れ目を入れるなど高齢者やお子さんにも食べやすい工夫をしています

安否確認サービス: お届け時にご利用者の安否を確認し、ご家族にメールでお知らせします。

対象エリア 福井市・鯖江市・越前市・敦賀市・小浜市 (一部の地域を除きます)



10月より、簡単便利なお惣菜もご注文いただけるようになりました。

買物代行

ご利用金額3,000円以上で手数料無料!

事前に電話注文いただいた商品をハーツ各店からご自宅までお届けします。(月~金: 時間指定はできません。)

手数料 1回 200円 (支払い方法) 現金引き換え

10:00~12:00までに電話注文をいただいた場合 当日午後お届けします

12:00~18:00までに電話注文をいただいた場合 翌日午後お届けします

対象エリア 坂井市・福井市・鯖江市・越前市・敦賀市 (一部の地域を除きます)



生鮮品からお米や飲料などの重いものまで、何でもOK! ご指示いただければ、重い荷物はお即座までお持ちしますよ。右の写真はお米を米びつに入れるお手伝いの様子。

サービス利用についてのお問い合わせは県民せいきょうコールセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

◎ コールセンター・・・0120-016-165

◎ 携帯・IP電話からは・・・0570-016-165

〈受付時間〉 月~金 …… 8:30~21:00 土 …… 9:00~18:00

第61回 福井県勤労者美術展 (9月29日~10月2日)

感性あふれ表現力豊かな力作がズラリ!

(主催: 福井県労働者福祉基金協会・福井県・福井県労働者福祉協議会)

今年も「あなたが創るあなたの世界を!」をテーマに、福井県立美術館に於いて平成二十三年九月二十九日(木)~十月二日(日)までの四日間の日程で福井県勤労者美術展が開催されました。作品は絵画・書道・写真の三部門で、総数二八四点。(絵画の部一七七点、書道の部七四点、写真の部九三点)。出展作品は、各部門特有のスタイルで感性あふれる多彩な表現を織り成す作品ばかりで、鑑賞に訪れる人達は、一つひとつの作品に魅了していました(四日間の入場者数一〇〇二名)。最終日の十月二日は、厚生労働大臣賞をはじめとする各賞の表彰が行われました。各部門の講評(厚生労働大臣賞含む)は次の通りです。

各部門の講評

〔絵画の部〕

油彩・水彩・岩絵の具・墨・アクリル・パステル・鉛筆・紙等の表現材料・技法で個性が表現されていた。特に人物や風景を用いた作品が多くあり、爽やかな作品、心温まる作品、ユーモアのある作品、重厚な作品等、出品者のテーマに沿って取り組み苦勞し感性豊かな作品が表出されていた。

◎厚生労働大臣賞(絵画)

若い女性の何気ない仕草を、合せ鏡みたいな配置で表現されています。紫・青・緑・茶色で巧みに色面分割した表出が現代的で洒落ています。二つの影の色違いが心憎く見る人の心を引き付ける佳作です。



〔絵画の部〕 厚生労働大臣賞 「万華鏡」 清水 明氏

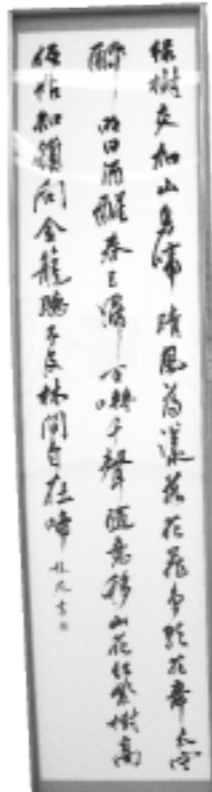
〔書道の部〕

本年は大作化がすすみ、創作への親しみにいそしむ方と、書をするに楽しさを感じて書かれた作品が多く、その中でも、どの作品も被写体への鋭い視線が感じられました。そして構図の決定の判断が素晴らしい、充実した美術展になりました。最近では、スナップショットが諸事情で難しくなった中で、自然、風

を楽しむ方が、それぞれの世界を耕しておられるように見え、大変好感がもてました。コッコッと刻した印も存在感があり、充実した臨書作品も出品されて、数文字を心静かに丁寧に線を引かれたものもあり、フツと「茶湯一碗、逍遥亦也」(空海「性霊集」)の句が浮かんで来たことでした。勤勞の合間に、茶碗でお茶のみ、宇宙を逍遥し、また忙しなか中へ飛び込んでいける心のゆとりと同じ一時をもって、毎日毎日がんばっておられることでしょうか。

◎厚生労働大臣賞(書道)

精力を引きしめて、一本一本丁寧に線を引く姿で、調和よくまとめて終始一貫ゆるぎない。敬意を表します。



〔書道の部〕 厚生労働大臣賞 「白居易詩一首」 伊原龍苑氏



〔写真の部〕 厚生労働大臣賞 「読書」 高木美栄子氏

景の中から視点のおもしろさを追求した作品が多く、また女性の応募は回を追うごと増えています。ただ気になるのはデジタルのテクニクに頼りすぎではないかと思われる傾向もみえます。次も期待します。

◎厚生労働大臣賞(写真)

タテかヨコ位置か一瞬、見方考えさせられる作品。子供はこんな所でも平気で本を読むというこに加え、見る側を納得させる視界の面白さがあります。右側を大きく入れた構図も申し分ない、スナップの秀作。

2011年度 中部労福協研究集会 一 報告 一

2011年度「中部労福協研究集会」は10月20日(木)~21日(金)、京都市において開催され、労福協中部ブロック(12府県)の福祉事業各団体等から52名の参加がありました。(講演3部構成)

初日の<講演I>で生活保護全国会議代表幹事(弁護士)尾藤廣喜氏による「生活保護『改革』ここが問題だ!」では、「生活保護受給者の中には、非正規労働者の増加と景気の悪化などが主な原因で、再就職したくても出来ない人達がいる。現在、保護制度の見直しに向けた厚労省と地方自治体の協議の中で、稼働可能層(働ける人)には就労支援施策の充実が議論になっているが、期限付き支援プログラム(有期保護に繋がる)や医療扶助の一時自己負担導入など、給付抑制に主眼が置かれている。財政対策重視の排除の論理ではなく、生活実態や就労の権利保障を主軸においた制度の改革こそが必要ではないか」と提起されていました。

<講演II>では、NPO法人京都歴史地理同考会理事長 中村武生氏の「京の歴史を掘り起こす」をテーマに、聚楽城周辺・連なる屋敷等について講じていただきました。翌日は<講演III>同志社大学経済学部教授 山森亮氏から「ベーシック・インカムとは~その思想と論点」というテーマで「ベーシック・インカムとは、全ての個人を対象に、生活に足りるだろう所得を無条件で給付するという考え方である。その思想と論点」について詳しく講演を行っていただき、研究集会を終了しました。



中部労福協研究集会